

避難のしかた



大きな地震が発生した時… 避難？ 自宅で待機？

自宅

家屋の倒壊や火災発生のおそれがある

ある

ない

いっとき

一時集合場所

近隣住民が一時的に集まって、周囲の正確な情報交換を行い、今後の行動の判断するための中継地点。一時集合場所は町会や自治会ごとに定めています。

自宅にとどまる

周囲の状況等に注意し
自宅で安全を確保する

外出先



いちじ

一時滞在施設

帰宅が可能になるまで待機する場所がない帰宅困難者等を一時的に受け入れます。施設の収容可能人数分の水・食糧等の支援物資を配布し、周辺の被害状況や鉄道の運行状況等の情報提供を行います。

大規模火災に拡大のおそれがある

ない

ある

鎮火



自宅に被害があり
生活できない

はい

いいえ

避難場所（広域）

大火災から身を守るために避難する大きな公園や広場。



避難所

自宅が倒壊・焼失・水没などで生活できなくなった人が、一時的に避難生活する場所です。情報提供、食糧配給、応急手当の拠点になります。



自宅

避難所が本来の機能を果たすためにも、自宅が安全であれば自宅での生活が基本となります。なお、ライフラインが停止した場合は、避難所で食料などの配給が受けられます。